



目次

- 第一章..日本語この美しいもの
- 第二章..言語の分類、起源、発達
- 第三章..日本における漢字の発音
- 第四章..中国語の発音
- 第五章..人称代名詞
- 第六章..量詞
- 第七章..外来語
- 第八章..口語と文語
- 第九章..中国語の標準語と方言
- 第十章..オノマトペ（擬音語、擬態語）
- 第十一章..親族の呼称
- 第十二章..中国語の単語と品詞
- 第十三章..同字異義語
- 第十四章..中国語の罵詈雑言
- 第十五章..四字熟語について
- 第十六章..中国の伝説の内から
- 第十七章..中国の哲学と宗教
- 第十八章..日本製の漢字、単語
- 第十九章..中国人の思考回路
- 附録..日本の略字と中国の簡体字

第十八章 日本製の漢字、単語

1. 日本製漢字

漢字は中国から輸入されたものであることは今更改めて言う必要もないが、漢字は当然中国で発明され使用されていたものである。しかし、輸入した日本には文化、社会、生活などにおいて日本独特のものも多くあり、輸入された漢字だけでは表現できないものも数多くあった。このため、きわめて自然に日本に合った漢字の製造が試みられ、次第に普及したのではないかと思われる。

日本製漢字の特徴としてはまず音読みがないことである。それはそうであろう、日本語を表現するために作られた文字であるから、その物（事）を表す日本語だけで良いのだ。

例えば道路の交差点を表す『辻』この文字は中国語には存在しない。中国語で辻のことは一般的に『路口』という。

次に『畑』『畠』中国語では農地は全て『田』で、敢えて田圃と畠を分けるとすれば『水田』と『旱田』という呼び方になる。



日本では水稲は大事な主食ということとで、他の作物と厳格な区別をしている。このため、これを作る農地のことを『田』といい、他の食用植物を育てるところを『畑』『畠』といい、両者をはっきりと区別している。

従つてこの二つの文字は日本製で音読みは無い。即ち中国語には存在しない文字なので中国語では読めない。漢字は全て中国のものと思ひこんでいる中国人は首をひねるばかりで読めない。ただ日本人の姓に多いので読まないわけにも行かず、時には『畑』の場合は『火』と『田』を分けて『火田先生』、『畠』の場合は『白田先生』等と苦しい読みをしている場合もある。また、『峠』も日本製で、山頂という意味の言葉は中国語では一般的に『山顛』『山頂』等という。

『込』という字も和製ということである。中国語ではその状況の説明をして表現する。『込』この文字はスベルという意味が日本語では口が迂るとか、おすべりとか迂り込むとか日本語にしかない意味が多くあるため、できたのではないかと思われる。中国語は『滑』は有るが『迂』は無い。

『榊』『柊』は当然日本製で、両方とも中国には存在しない。日本の『榊』に相当する植物は存在するが、その呼び方は一般的に『楊桐』という。この木は日本では神事に使うため、

『桺』という文字が作られたと思われる。また、『袷』は日本独特の衣装なので、比較するものが中国にはない。

いちいち挙げていけばきりがないので、少し分類して列举してみる。

1) 音読みがあるもの

日本製漢字には音読みがないと前に書いたが、ほんの一部音読みが後から加えられたものがある。

働 はたらき 音読み 〓 どう 中国語にはニンベンのある働の字はない。

2) 音読みしかないもの

普通の日本製漢字は訓読みしかないが、これらの字は音読みしかない。

腺 〓 扁桃腺、リンパ腺などの腺。

鋌 〓 鋌を打つ。

錠 〓 錠前などに使う。 中国語では 鎖。

3) 魚篇の漢字

中国には漁業技術、設備、流通、更に大きな理由として漁業ができる海が少ないというよ
うな理由により、ごく最近までいろいろな魚を食する習慣もなく、こと魚に関しては日本は



遙かに先進国であった。

このため中国語には魚に関する知識も格段に低く、魚の名前などは日本で作らざるを得なかった。

鰯Ⅱイワシ

鰯が中国で捕れないとは知らなかった。

鰯Ⅱカズノコ

中国には鰯の捕れる海がない。

鰯Ⅱキス

中国の濁った水ではキスはいないだろうな。

鰯Ⅱシャチ

中国の鰯に似た伝説上の動物は、童の子とされる。シャチホコは兽头瓦という。海に棲むシャチは中国人は見たことがなかったのであろう。

鰯Ⅱタラ

最近では中国人も日本にならってタラのことを鰯魚という。

鰯Ⅱナマズ

ナマズのことは鰻魚というが昔はなんと言ったのかな。

その他多数

4) 木篇の漢字

中国は国土が広いのでその植物相も多く、また各地で名前も違うため、また日本の植物と微妙に違う点もあったためか、日本独自の文字を当てたようである。

榿Ⅱカシ

この木は中国にも存在し一般的には橡樹という。

桧Ⅱクヌギ

榲Ⅱサカキ

榎Ⅱスギ

榎Ⅱトチ

榎Ⅱトガ

榎Ⅱマサ

桧Ⅱモク

榎Ⅱモミジ

榎Ⅱワク

5) 鳥篇の漢字

上記魚篇、木篇等と共に自然界の物で日本独特の呼び名を持つ動物、特に鳥などには日本製漢字が多いようである。

鴨Ⅱシギ

この鳥は渡り鳥なので中国にもいる。中国名は鵞

〃

柞樹という。

この文字は前出した。

この木は中国にも存在するが文字は杉樹で榎はない。

この木は中国にないようである。中国語では日本七叶樹。

中国語では日本鉄杉

これは木の名前ではなく木目の状態を表す言葉である。

中国語では一文字ではなく直木紋という。

これは木の名前ではなく人の名前などに使われる漢字なので中国にはない。

日本語でも一般的には紅葉を使う。

これは木の名前ではない。中国語ではその表す意味によって変わる。

例・ワクまたはフチは榎子。セメントの型枠は护板。制限は范围等々



鵜 ュグミ

//

中国名は班鵜

鵜 ュトキ

この鳥はニッポニアニッポンという学名があるぐらいだから日本固有の種かと思っていたら中国にもいるんですね。中国名は朱鷺、朱鷲、紅鶴。

6)その他

その他に日本人の感性を豊かに表現した文字も沢山ある。

倭 ュオモカゲ

繊細な心理の動きを表現する日本らしい言葉

喰 ュクラウ

単に食べると言うより、大口開けてガツガツ食えるという如何にも日本的な表現

糲 ュコウジ

発酵食品に関しては日本の方がどうも発達しているようである。

凧 ュコガラシ

日本ほど四季の変化に恵まれた国はない。その四季の変化を感じ取り、生活の中に取り入れて行く。そこに日本的な繊細な心が生まれてきたのではないか。凧は只単に冬の冷たい風と言うことではなく、日本的な繊細な表現であると思う。

凧 ュナギ

これも前題同様海洋国家としての日本は只風が止んで海が静かになることを一字で表現できる言葉などが生まれてきた。

笹 ュササ

日本では大きくならない竹のことを笹と言うのですが、中国では大きな竹も小さな竹も皆竹なので、パンダが食べるやつも竹です。日本では笹

雫 〓 シズク
襪 〓 シツケ

襷 〓 タスキ

鞆 〓 トモ

匂 〓 ニオイ

噺 〓 ハナシ

粃 〓 モミ

塀 〓 ヘイ

筆 〓 ムシル

匆 〓 モンメ

衤 〓 ユキ

と言いますよね。

これも日本的な水滴の繊細な表現だと思います。

襪はまさに日本的な礼儀など他人との接し方の教育のことですね。このような概念は中国を含めて外国の人には中々理解できないもののようにす。

和服の袖を固定するための紐のことで、外国にはありません。

日本弓道の用具

中国ではくさい物も、香しい物もすべて『味』です。日本人の繊細な心は『香道』等と言うものも生み出しました。

『お伽噺』『噺家』等日本的なもの。

中国語では稲谷、稲皮など特別扱いはしていないが、日本は主食である米に関しては特別扱いである。

日本では外壁のこと『塀』と言うんだよ。『ヘー』

筆って毛を少なくするとは面白いね。

日本独特の度量衡の単位ですね。

和服の部分の呼び方。

この他にも沢山あると思うが、筆者はこの分野の専門家ではないので、この辺にしておき



たい。後は読者自ら探して下さい。

2. 日本製単語

第七章の外来語の項でこの問題については既に触れたが、この項ではもう少し詳しく述べることにする。

中国人は漢字は中国のもの、漢字で表現する単語も全て中国のものと思っている人が多いが、実は現代中国が使っている漢字で表現する単語のかなりな部分、特に科学技術、近代哲学、思想、人文科学、社会科学に属する単語の多くが日本製であることを彼らは知らない。勿論知っている人も多いが、その事実は全面的に認めるのは忸怩たる思いがあるらしく、この問題に触れたがらない傾向が強い。また、実際に知らない人も多く、我々にその事実を知らされるのと愕然とする人も多い。しかし、事実は事実なのだ。毛沢東の建国宣言の一部『創建社会主義国家』（社会主義国家を創建しよう）、これを中国人に、このスローガンの中に日本製単語が含まれているがどれかと聞いてもほとんどの人は首をひねるばかりである。正解は全部である。

また、豊田有恒さんの著書によると韓国は日本による統治の時代に日本から持ち込まれた文化があまりにも多く、それを何とか排除したいと必死になっているそうであるが、これら

を全部排除することになれば、現代韓国語の多くの部分が失われ、言語としての体をなさなくなるのではないだろうか。

漢字輸入以来中国とは違ふやまと文化独特の事象、思想を表現する漢字、単語の不足は当時の学者および為政者などを悩ませたと思う。特に明治維新以後は、西欧の近代的科学技術の輸入と同時に文化、思想、芸術に至るまで西欧のものを幅広く積極的に取り入れることになり、まず困ったのはそれらを表現する漢字による単語がないということであつた。それではそれに対応する漢字による単語を作ろうということになり、特に中国を気にせず日本国内で通用するようになれば便利ではないかという考えの基に政治家、思想家、科学者、文学者などを中心にしてこの作業が進んだ。この仕事に熱心に取り組んだのは西周、福沢諭吉、福地桜痴、中江兆民、森鷗外、夏目漱石などである。明治維新以前にも日本製の単語がそれほど多くはないが作られている。この分野で特に有名なのは杉田玄白、市川清流などであろう。

ではどんな単語が日本製なのか、勿論全部は挙げられないが一部を紹介しよう。（元上海外国語大学教授陳生保先生の著作より）

① 形容詞十名詞

人權 金庫 特権 哲学 背景 美学 化石 環境 芸術 医学その他



② 副詞＋動詞

互惠 独占 特許 高压 交流 肯定 否定 表決 歡送 仲裁 妄想 見習 仮死

③ 同義語の複合

解放 共同 説明 供給 方法 主義 階級 共和 希望 法律 活動 命令 知

識 総合 説教 教授 解剖 闘争

④ 動詞＋客語

断交 脱党 動員 失踪 投票 休戦 作戦 投資 投機 抗議 規範 動議 処刑

⑤ 複合語

社会主義 自由主義 土木工程 工艺美术 自然科学 自然淘汰 攻守同盟 防空
演習 治外法権 政治経済学 唯物史観 動脈硬化 神經衰弱 財団法人 国際公
法 最後通牒 経済恐慌

この他数百に上る単語が日本製とされ、これが現代中国語の中でも重要な単語として使用されており、今やこの日本製単語無しには中国語として成り立たなくなっている。

『某共产党干部说，我希望请大家积极参加共产主义会议』（ある共产党幹部が皆さんが積

極的に共産主義會議に参加されることを望みます。と発言した)。さて、この中に幾つ日本製単語が含まれているのでしょうか。その答えは傍線のある文字全部、本来の中国語は『某說 我 請大家』しかない。要するにもし日本製単語がなかったら、現代の中国語は言語として成り立たない。ということなのである。

以下はある中国人学者の調査により日本からの輸入と判明した漢字二文字による日本製単語を少し挙げてみる。読者もきつと驚くに違いない。

垂鉛	暗示	意識	演出	溫度	概算	概念	概略	會議	會話	回收	改訂	解放
科学	化学	拡散	歌劇	仮定	活躍	幹線	幹部	観点	間接	寒帯	議員	議院
議會	企業	喜劇	基準	基地	帰納	義務	客観	協会	協定	共產		
主義	共鳴	強制	金婚	金牌	銀婚	金融	銀行	銀幕	緊張	空間	組合	警察
契機	景気	経験	経済	恐慌	芸術	系統	化粧	決算	権威	劇場	原子	原則
原理	現役	現金	現実	元素	建築	公民	講演	講座	講師	効果	広告	工業
高潮	高利	光線	光年	酵素	肯定	国際	国教	固体	固定	債権	債務	採光
雑誌	時間	時候	刺激	施工	施行	市場	市長	自治	指数	指導	事務	実感
実業	失恋	質量	資本	資料	社会	宗教	集団	重工	終点	主観	出発	出版



將軍	消費	乘客	商業	証券	情報	常識	上水	承認	所得	所有	進化	進度
人權	信号	信託	圖案	水素	成分	制限	生産	政策	正当	性能	積極	絶対
接吻	纖維	選舉	宣伝	総合	総理	速度	体育	体操	退役	退化	大気	代表
対象	単位	单元	探検	窒素	抽象	直径	直接	定着	哲学	電子	電車	電池
電波	電報	電流	電話	伝染	展覽	動員	動産	投資	独裁	特権	内閣	内容
任命	熱帯	年度	能率	背景	霸權	派遣	反響	反射	反応	悲劇	美術	否定
否認	必要	批評	評価	標語	舞台	物質	物理	平面	方案	方式	放射	法人
母校	本質	漫画	蜜月	密度	目的	目標	唯心	唯物	輸出	要素	理想	理念
立憲	了解	領海	領空	領土	倫理	累計	冷戦	論壇	論理	人口	海拔	学会
仮名	簡單	記号	巨星	金額	権限	原作	堅持	公認	公立	小型	克服	故障
財閥	作者	茶道	參觀	支配	支部	実験	実績	失効	私立	重点	就任	主動
成員	組成	対局	立場	單純	出口	手続	取消	内服	日程	場合	場所	備品
広場	服務	景気	方針	明確	流感	等々						

以上三文字による和製単語を挙げたが、この他に三文字によるもの、四文字によるものなど非常に多い。

また、更に元々中国語の熟語として存在していたが、日本において欧米の語彙の翻訳用語として新たな意味を与えられたもの、例えば、医学 意識 階級 綱領 労働（働は中国では動） 意識 専売 遺伝など一〇〇以上の単語もある。

では何故中国にこのような膨大な量の日本製単語が流入したのか、明治維新以後、日本は西欧の先進的な思想、科学技術、芸術などを吸収するべく大変な努力を払った。その中で従来の日本語および漢字の概念だけでは解決できない大問題に突き当たり、日本の政府官僚、学者、思想家、哲学者などがそれぞれの分野で新しい概念を持つ漢字による単語を創出した。中国は日清戦争終結後、近代化の必要に迫られ、急速に近代化を進めるには日本に学ぶのが最も手っ取り早い方法であるということから、大量の（延べで一〇万人を超えた）留学生を日本に送り込んだ。彼らの使命は祖国の近代化であることから、あらゆる分野の日本の書籍を中国語に翻訳したが、そのとき文中に出てくる日本製漢語もそのまま中国に持ち帰った。なぜならば日本製漢語は漢語の法則に従って作成されていたため、違和感を覚えることなく受け入れられたのであると言われている。

前出の表を見ていると筆者でさえ、えーっこんな言葉も日本製なのとのけぞることがある。日本人である筆者でさえこのざまなのだから、中国人がその事実を知ったときそれこそ驚く



に違いない。

前出の和製漢字といい和製単語といい全て日本人が日本人のために作り出したもので、中国に輸出してどうこうという考えなど毛頭無かったが、中国人が自らの国の近代化を進めるうえで必要であり、且つ感動したため和製単語は持ち帰った。しかし和製漢字はあまり必要を感じなかったと見えて持って帰らなかった。このため和製単語は中国に定着したが、和製漢字はあまり使われなかった。

3. 日本の略字と中国の簡体字

毛沢東が奨励した中国の文字改革により生まれた『簡体字』、中には日本の常用漢字の中のいわゆる略字と同じか、もしくは非常に似ている文字もあるが、多くの簡体字は日本人に馴染みが無く、旅行者や中国語の初心者を悩ます文字である。この簡体字に関しては本書の付録として簡体字典をつけている。そこで詳しく触れたいと思うが、ここでは中国人が読めない日本の略字について紹介したいと思う。

まず貨幣の単位である『圓』これは日本の『円』のいわゆる本字ですよね。それでは中国の貨幣の単位は何かというと、多くの日本人は『元』だと思いこんでいるし、また報道機関も『元』（ゲン）と報道している。ところが中国の紙幣の表記をご覧下さい。全て『圓』と

書いてある。そうなんです『元』は『圓』の簡体字なのだ。

即ち、『圓』≡『円』≡『元』という関係なのだ。日本で『円』という字はお金の単位以外にはせいぜい円形という場合に使う『○』とかその延長で『円満』『円熟』という充実したという意味にしか使いませんが、中国の簡体字である『元』は元々存在し、しかも『圓』とは違う意味を持っている全く別の字であった。では現在の『元』は元々の意味はなくなっただかというとしてそうではなく、本来の意味においても使用する。中国人は『圓』≡『元』であるから日本円についても『日元』という。また『円』という文字は中国に存在しないため読むこともできず、なかには『丹』に違いないと勝手に思いこみ一〇〇万丹等というヤツもいる。駄足だが、中国人はお金の単位は元しかみとめたくないのか、アメリカのドルは『美元』ユーロは『欧元』という。

『才』≡『歳』≡『岁』

才という字は中国にあるが、年齢には使わない。日本人が五十才などと書くとき変な顔をする。日本人には『才』は『歳』の略字であるが、中国人にとっては『歳』の簡体字は『岁』であるからだ。中国の簡体字に『才』の字はあるが、『歳』の簡体字ではない。『やっとできた』（中国語≡才能做好）の（やっと）というような副詞に使われるが、字の形はちよっ



と違うようだ。

『売』≡『賣』≡『卖』

中国の簡体字では『売』は別の意味がある。それは『殼』という字の簡体字ということになっていて。従って日本人がうっかり『売』という文字を売るという意味に使っても意味が通じない。

『駅』≡『站』

中国の簡体字には『駅』という文字はないので読めない。駅という概念を表す文字は『站』なので旧字体を使っても意味は通じない。

この他にも中国の簡体字は日本の略字と略し方が違う場合が多いので要注意である。